

# 理研会報

発行日：平成29年3月24日  
号数：No. 385  
発行：印旛地区教育研究会理科研究部  
HP：<http://rikainba.com>  
メール：[rikainba@yahoo.co.jp](mailto:rikainba@yahoo.co.jp)



年度末は人事異動の時期。理科研究部の理事の先生方の中にも今年末をもってご勇退される先生方がいらっしゃいます(右記参照)。理研会報385号では、5名の先生を代表して古嶋美文先生と角井一郎先生からメッセージいただきましたので掲載いたします。

本年度退職される理事の先生方

佐倉市立佐倉小学校長	古嶋美文先生
成田市立新山小学校長	岩崎正彦先生
富里市立根木名小学校長	小山成志先生
栄町立竜角寺台小学校長	江村 司先生
四街道市立四街道西中学校長	角井一郎先生

## 「理科の授業について語り合える仲間を持ちましょう」

四街道市立四街道西中学校 角井一郎先生

今にして思えば恐ろしいことですが、教員に成り立ての頃の私は自信過剰とも思えるくらいに授業に自信がありました。それも、生徒たちを納得させる話術にであり、ストーリーにです。授業は指導者である私の独壇場、主役は私です。予備校の名物講師をイメージしてください。生徒たちは私の話を面白がり、納得顔で授業を終え、理科室をあとにしていました。その大きな勘違いに気がついたのは、五部会の教研活動の中ででした。印教研の発表を前に準備を重ねていたのですが、参加されていた先輩の先生方の授業実践の理念が、私と全く違うのです。新教材の開発と平行して、生徒たちを如何に活動させようか、如何に考えさせようか、そのための指導計画はどうしたらよいか、単元を貫く指導過程の工夫はどうしようか、1時間の授業の組み立てはどうするか、などについて議論を進めていたのです。今なら当たり前に見えるこのことに、当時の私は気づかずにいたのですね。得意になって進めていた私の授業では、例えば思考力、判断力、表現力を意図的に養っていく、高めていくことができなかったのではないかと猛省します。それだけに、教研活動という機会を与えてもらったことに、そして教研活動の中で授業のあるべき姿を私に考えさせてくださった先輩の先生方に感謝しています。

もう十年来、いろいろな場面で耳にするのは、各部会での教研活動が成り立ちにくくなっている、という現実。研究のリーダーが声をかけても、人数が集まらないというのです。要因はいろいろあるでしょうが、一つには、他と交わり、議論し、時間をかけるより、自分一人で効率よく授業準備してしまった方がいい、と思う先生方が多くなっているのかなあと推測します。あるいは、共同研究を進めることを面倒に思っているのかもしれないですね。とても残念なことです。

もう一度原点に立ち帰りましょう。理科研究部の宝は、共同研究であり、教研活動にある。自己満足の授業から脱却しよう。より良い授業を求めて、周りとの意見を交わそう。他校の先輩のノウハウを譲り受けよう、研究員の先生方からたくさんの刺激をもらいましょう。お互いに。

理科研究部のますますのご発展をお祈りいたします。

## 「理科教育との関わり」

佐倉市立佐倉小学校 古嶋 美文 先生

私の教員生活修了に際して、研究部の方のご配慮により、講師の依頼をいくつかいただきました。正直に言って、様々な行事と重なり時間的には苦しい時期でしたが、快諾いたしました。それは、凡夫である私を認めてくださった方々の気持ちが大変嬉しかったこと、そして「理科」を常に優先してきた自身の使命感もありました。

講師として中学校の授業を拝見した時は、指導者の授業への熱意と飽くなき向上心を、直接感じられることができました。すばらしい授業でした。「花粉管の伸長の観察」と「物質の性質」の授業でしたが、「自分だったらこうするぞ。」というライバル心も、徐々に湧き上がりました。

教員向けの実習では、ニワトリを解剖してもらいました。理科の教員であっても、鳥類や哺乳類等を解剖する経験が減っていることがわかりました。一方この解剖によって、小さな体内に各器官が、芸術的と思えるほどうまく配置され、繋がり、一個体が形成されていることも理解していただきました。

実習の最後には、ナガスクジラの実物大の模型を見てももらいました。これは、農業用のビニールを実物大に切りながら成形したものです。長さは20m以上あります。大型扇風機で風を送り込み、みるみる大きくなっていく様は圧巻です。巨大な哺乳類が、大海原を悠然と泳いでいくことをイメージでき、ワクワク感いっぱいになります。12時間かけて作った苦労は、大したことはありません。本校の児童にも見せ、クジラの中にも入れました。とても好評でした。



結びに37年間の教員生活でしたが、自然に関わること、理科の指導をすることに重きを置けたことは、幸せでした。これも周りの方々からの支援のお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。

本年度末でご勇退される先生方には、すべての理科研究部員が本当にお世話になりました。理事以外の先生方のお名前をご紹介できず申し訳ありませんが、今回ご勇退されるすべての先生方に支えられ、理科研究部が現在のような姿に育てられたといっても過言ではありません。先生方の思いを受け継ぎ、ますます充実した研究部になるように活動していきたいと思っております。先生方の今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

お知らせとお願い

- ・例年新年度の印教研総会の後の懇親会が、歓送迎会を兼ねております。今回メッセージを掲載できなかった諸先輩方からお話をうかがうチャンスです。多くの先生方に参加していただくと幸いです。よろしくお願いいたします。
- ・学校現場を離れ行政等に異動された先生方が把握しきれず、ご迷惑をおかけすることがあります。大変お手数ですが、異動先を理科学研究部へお知らせいただくと助かります。理科学研究部へのメール ([rikainba@yahoo.co.jp](mailto:rikainba@yahoo.co.jp)) または下志津小学校 (TEL 043-487-8550 FAX 043-462-5034) 中村まで直接お知らせください。ご協力お願いいたします。

理研会報も本年度の最終号となりました。発行が遅れたことをお詫びいたします。多くの先生方に記事をお寄せいただき、理研会報を発行できました。今までのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。